

教育委員コラム

教育委員リレーコラム

《外国語指導助手に期待》

教育長 小林俊夫

外国語指導助手（ALT）ティモシー氏は7月下旬で弟子屈町勤務が終了し、8月に帰国しました。その後を継ぐのが米国（ジョージア州）出身のウィリアムチェサー氏と同じく米国（アラスカ州）出身のエリック オードル氏の二人となりました。

既に新聞報道や広報でしかがで紹介しているとおりウィリアム氏とエリック氏はそれぞれ8月1日と8月8日に着任し、各学校で活躍していますが、ALTが2名体制となるのは本町では初めてのこととなります。

本町のALT導入は平成4年7月からスタートし、初代はジェームス氏（米国）、その後平成7年キャサリン氏（英国）、平成10年デビット氏（米国）、平成12年コーリー氏（米国）、平成13年ランス氏（米国）、平成16年ブライアン氏（米国）、平成18年ダンカン氏（加国）、平成20年7月ジェシー氏（米国）、平成21年ティモシー氏と続き、今回で10代目と11代目となります。

これまでALT1名体制の時は中学校が中心で、余力で小学校を訪問するスタイルで活動しておりましたが、2名体制になると、町内6小学校の「外国語活動」授業と2中学校の「英語」授業の指導助手として十分に配置出来、更には北海道弟子屈高等学校からALTの派遣要請もあり、それに応えるための準備も進めているところです。

このように小中高校への授業支援はもとより、この間課題となっていたALT自身による教材研究も時間をかけることが出来るようになるなど、従来に増して充実した体制が整うこととなりました。

更には今年、文部科学省から「英語力の強化する指導改善の取組」事業について弟子屈高等学校が指定を受け、高校を中心に弟子屈小学校と弟子屈中学校との3校連携による英語力向上を目指すこととなったことから、この事業の推進を図る上で、ALT2名の存在は大変大きなものがあると考えます。勿論学校教育に留らず、社会教育面でも活躍できるよう計画していきたいと考えています。

ご存知のとおり、観光地弟子屈町には多くの外国人が訪れていますが、国際的観光地としてのグレードをアップさせるためにも児童生徒の「英語力」の向上はかせないものの一つと言えます。

日本語はほとんど出来ない状態で来町する二人ですが、町民の皆さんの暖かい眼差しで支えて頂きたいと同時に、国際交流や異文化交流を通してより良い関係が作れるよう努力していきたいと考えております。

（次回のリレーコラムは小澤委員長です）



弟子屈町教育委員会



〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話：015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>





教育あっちこっち情報



グリーンタッチに参加しました

6月4日、恵まれた晴天の中、今年で3回目になるグリーンタッチ事業として弟子屈中学校周辺のエソヤマザクラの植樹が行われました。

町内の保育園児・幼稚園児から高校生まで一同に集まる機会はこの事業しかないのです、少なくなったとはいえ、皆整列した姿に圧倒されます。回数を重ねたせいか、高校生をリーダーにした縦割り班で桜の木を手際良く植えていました。元気な高校生がいる班では、小さな子供への声掛けや仕事の与え方などもできていて、楽しそうに活動していました。植樹をするという環境学習だけではなく、小学生・中学生も他学校の同学年を意識したり、自分が行く次の学校の先輩を見たりする良い機会だと思います。

また、このような事業を経験し、子供達も先生もお互いに親近感や興味を持って、他の学校の運動会や学芸会などに気軽に行き来できたらと思います。

教育委員 榎本 悦子



「みんなで見よう！金環日食」

5月21日（月）早朝…25年ぶりの国内観測となる金環日食の日、弟子屈小学校での観測会に参加させて頂いた。

当日は児童の登校日ではあるものの、朝はやくにもかかわらずグランドを見れば沢山の人がすでに集まっていた。

そこには全校生はもちろんの事、教職員や父母を含め、地域の方々など…「これから運動会でもあるのかな？」というぐらいの賑わいであった。しかしその後、日食ピークの時間をむかえるにつれ、その場にいたすべての目が、同じ方角を見ながら「わぁ～すごい～」「見えた～」「あそこだよ～ほら～」と、その場にいたみんなの思いが共有した様な気がした。同じ場所で、同じときを過ごし、すべての目が同方向を見るという光景。

次はいつこの場に立ち会えるのだろうか・・・？ちなみに次回の日食は18年後（2030年）だそうです。その時も同じときを共有したいものです。

教育委員 菅原 誓之



新校舎になって初めての移動委員会

弟子屈町教育委員会は、毎月1回定例教育委員会を弟子屈公民館で開催していますが、6月・7月は、各小中学校を訪問して開催しております。

平成24年度第6回移動定例委員会は、弟子屈中学校で行いました。校舎が明るく清潔感が溢れ、会議に臨む気持ちを引き締められました。会議の前に職員室で、全学校教職員・教育委員・教育委員会職員が対面し自己紹介を行ってから委員会を開催いたしました。会議終了後、3階の教室から体育館まで各学年の授業を参観させていただきました。生徒さん達の勉強する教室を巡るたびに教育施設的环境が本当に良くなったのを実感致しました。その後、お忙しいお出で戴きましたPTA役員の方々和懇談を致しました。校長先生より学校概要説明の後、色々意見交換を行いました中に、もっと小学校・中学校・高等学校と連携を進めるべきとのご意見がありました。是非とも良い結果につながりますよう取り組んでいきたいと思っております。有難うございました。次回は7月に奥春別小学校において第7回移動委員会を行います。どうぞ宜しくお願いします。

教育委員長 小澤 重



弟子屈小学校で大掃除

7月19日弟子屈小学校で校内大掃除が行われました。

主催のPTA学級委員会が呼びかけ人になって行われ、保護者約100名と児童約140名に教職員全員が加わり、総勢約260名が参加しました。

午後7時、最初に担当の先生から掃除の手順の説明があった後、それぞれ各教室等に散らばり、一斉に清掃作業が開始され、普段児童が手の届かない窓の高いところや取り難い床の汚れ等は保護者が担当し、児童達は各教室の掃除に一生懸命取り組んでいたようです。

この事業は弟子屈小学校の伝統行事になっていて、聞くところによると、現在の校舎が新築されことを機会に「学校施設を保護者と子供達、教職員が一緒になって大切にしよう」ということから始まったようです。

目立たなく当たりまえの事業かもしれませんが、保護者と一緒になって大事な物を大切にする心を養う素敵な事業だと思います。

教育長 小林 俊夫



日置市姉妹都市交換中学生交流団来町

今年も姉妹都市である鹿児島県日置市から、11名の中学生が8/26～8/29までの日程で、ホームステイ・中学校への学校訪問・施設見学・体験学習などで弟子屈町を満喫して行かれました。特にホストファミリー宅でのホームステイでは、北海道の食に触れる機会や、来年1月に日置市へ行くことになっている生徒との交流を楽しんでいったものと思います。歓迎式典では、11名それぞれが立派な挨拶で大人を驚かせる場面も多く、これからの彼等の活躍と、弟子屈中学校・川湯中学校の生徒との交流が楽しみなところです。

委員長職務代理 藤原 将男



*** 編集後記 ***

今回で5回目の「教育委員コラム」発行となりました。当初8月の発行を予定しておりましたが…、反省です。そのため、記事の一部が少し前のものとなっています。

次回は、12月の発行を予定しており、教育委員リレーコラムの担当は小澤委員長ですので、お楽しみに…！

弟子屈町教育委員 委員長 小澤 重
委員長代理 藤原 将男
委員 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
教育長 小林 俊夫

